

2011 SUPER GT Rd,1

吉田広樹
〈富士スピードウェイ〉

今シーズンは今まで自分の目標だったSUPER GT選手権にマレーシアを拠点とする「Thunder Asia Racing」より参戦させて頂く事になりました。このクラスは国内最高峰の選手権であり、プロフェッショナルでレベルの高いクラスです。自分の速さや実力がどこまで通用するのか初心に戻り思いっきり挑戦したいと思います。このチャンスをご用意して下さったスポンサー様をはじめ、チームの皆さん、そして沢山の関係者の方々には本当に感謝しています。



4月29・30日 フリー走行

今シーズン、このS-GT選手権は岡山で開幕する予定でしたが、震災のことも考慮し5月末に延期することになりました。その結果、実質今回の富士でのレースが開幕戦となります。開幕前の合同テストも中止となってしまったため、私はこのレースウィークに初めてマシンをドライブすることとなりました。また、この日にルーキーテストをパスしなければならなかったため、フリー走行でも優先的に走らせて頂きました。先ずは初めてのマシンに慣れるためセッション開始と共に周回を重ねます。徐々にマシンの感触を掴みながらタイムをあげていきます。この日の走行でルーキーテストもパスすることができ、今までのクラスでは体験していなかったコンパウンドが違いうタイヤも試すことが出来ました。またレースに向けて、ガス満タン状態でタイヤの磨耗も大きい決勝用のセッティングも確認しながら1'44,946というタイムを記録します。この日の

残り時間はチームメイトとマシンをシェアしながら、トップから1.4秒落ちの15番手でフリー走行を終えることとなりました。

4月30日 公式予選 DRY 19番手/21台中

前日のフリー走行からセッティングを変更し、予選に挑むことになりました。フリー走行で記録したタイムはコンパウンドもハードで燃料も満タン状態だったため予選に向けての大幅なタイムアップが期待されます。そして300クラスの占有時間になると同時にコースインし、タイヤを温めます。そしてタイムアタックを開始するのですがタイヤを温めることが出来ず、タイムも中々上げることが出来ません。またこのときからメータ周りのトラブルも発生し、タイムなどいろいろなインフォメーションが入ってこない状況となってしまいました。最終的にこ



THUNDER
RACING ASIA

<NO.1>

2011 SUPER GT Rd.1

吉田広樹
〈富士スピードウェイ〉

5月1日 決勝レース WET 15位/21台中



の予選で記録したタイムは午前のフリー走行で記録したタイムより遅い、1'45.213というタイムで19番手で終えることとなってしまいました。

この予選はソフトタイヤで燃料も軽い状況でアタックしたのでタイムが出ないはずないと思っていたのですが、予選後のタイヤ内圧を調べると想定よりもかなり低い状態でした。また周りの選手のデータを見ると私よりも多く周回を重ねていたのも、そのことを踏まえて考えた結果、気温や路面温度からの冷感の内圧やアタック中に内圧を上げられなかったことが原因だと考えられます。今回の予選はマシンのポテンシャルを発揮することが出来ず、チームメイトやメカさんにも申し訳ない気持ちでいっぱいでしたが、多くのことを学べたと予選となりました。

この日は前日の晴れ空とは打って変わり、朝から雨が降り始めます。午前のフリー走行では、初めてこのマシンでWET路面を走行することになったのですが、前日からのメータートラブルに加えワイパーのトラブルが発生し、その修復作業に時間をとられてしまいます。しかし限られた時間でアタックをした結果、JAF規定マシンの最上位となる11番手で雨のフリー走行を終えることが出来ました。周りの車両と走った感じから、このマシンの得意な部分やそうでない部分が少しずつ見えてきました。

レーススタートの時間が近付くにつれ、徐々に雨脚が強まります。しかしワイパーやメーターのトラブルは修復することが出来ないまま決勝レースをスタートしなければならない状況となってしまいました。さらにグリッドに着く頃にはかなりの雨量になったため、SC先導でのスタートとなります。そのような緊迫したコンディションの中、今回は初めてのGTレースとなるにも関わらず、スタートドライバーまで任せてもらえることになりました。しかしフォーメーションラップスタートの際にエンジンストールをしてしまい最後尾からのスタートになってしまいます。レーススタート後6周ほどSCカー先導のもと周回を重ね、いよいよ再スタートのときを迎えます。スタートでも上手くポジションを上げることができ、ワイパートラブルで前方の視界が悪い状況でしたが、周回を重ねるたびにポジションをあげタイムも詰めていく事が出来ました。タイムも上がってきた中盤に私のスピンもあり、せっかく上げてきたポジションをまた下げることとなってしまいました。ギリギリまでピットインを引っ張る作戦にも助けられ8番手でチームメイトのメ



<NO.2>

2011 SUPER GT Rd.1

吉田 広樹
〈富士スピードウェイ〉

ルビンさんへとドライバー交代を行いました。その後さらに両脚も強くなり、スピンやコースアウトで戦列を離れる車両が多い中、メルビンさんは安全にマシンをゴールまでドライブし、15位という結果でレースを終えることとなりました。

このレースウィークを振り返ると、もちろん満足できる結果ではありません。マシン、チームの持っているポテンシャルを考えてもまだまだこんなものではないと思います。しかし震災の影響で、チーム関係者の来日やパーツ輸入の遅れなど色々な問題が発生する中、メカさんたちが大きな問題もなく走れるマシンを作ってくれたことに本当に感謝しています。初めてのGTという舞台でこのような難しいコンディションを走りきったことは凄く大きな経験だったと思いますし、今後の課題も見えてきました。自分がチームの為にやらなければいけないこと、チームと一緒に育っていかなければならないこと、まだまだ課題は山積みですがチーム一丸となって一步一步前進していきたいと思います。それでは引き続きご指導、ご支援宜しくお願い致します。

Thunder Asia Racing 吉田 広樹



<NO.3>